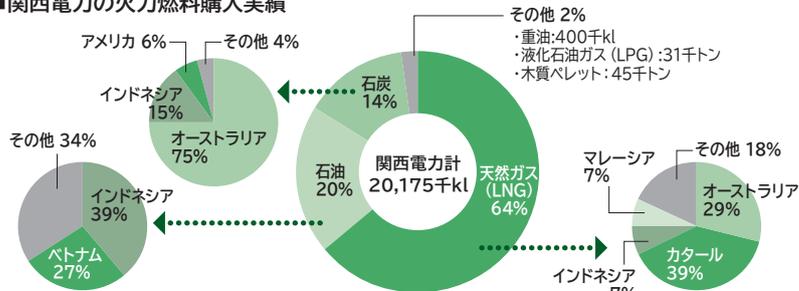


関西電力グループのサプライチェーンと取組みの方向性

(2015年3月31日現在)

① 燃料調達

■関西電力の火力燃料購入実績



【①燃料輸送船】

【②原子力発電所】

【②火力発電所】

【②風力発電所】

【②太陽光発電所】

③ 送電線路の長さ(巨長)

18,661 km

【②水力発電所】

③ 配電線路の長さ(巨長)

131,164 km

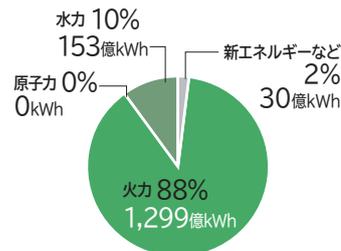
【④オフィス・ビル・商店など】

【④ご家庭など】

② 発電

■発電電力量

合計 1,482億kWh



※発電電力量は当社需要に対応する電力量構成比です。四捨五入の関係で合計と一致しない場合があります。

■発電設備

合計 3,744.2万kW (169カ所)

(内訳)

火力	1,944.1万kW (12カ所)
水力	822.2万kW (151カ所)
原子力	976.8万kW (3カ所)
新エネルギー	1.1万kW (3カ所)

※四捨五入の関係で合計と一致しない場合があります。

④ 販売

■販売電力量

1,345億kWh

■契約口数

電灯 [12,635千口]

電力 [1,013千口]

(特定規模需要を除く)

■ガス・重油販売量 78万トン (LNG換算)

① 燃料調達

② 発電

③ 送配電

④ 販売

グループ事業・国際事業など

事業共通

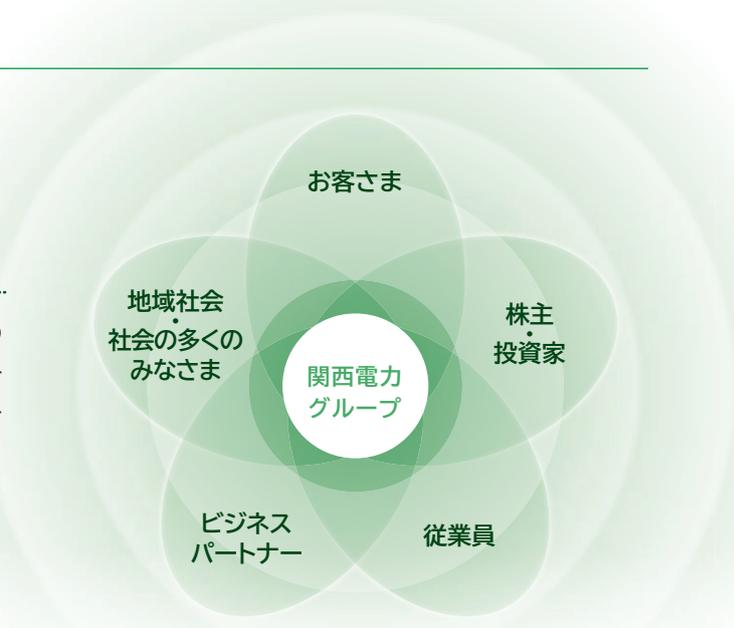
燃料調達、発電、送電、変電、配電といった流れを経て、関西電力グループは、お客さまに電気をお届けしています。サプライチェーンにおけるそれぞれの主な取組みの方向性は以下のとおりです。

サプライチェーン上の課題	考慮すべき主なリスク	主な取組みの方向性
<ul style="list-style-type: none"> ●電力の需給安定に向けた燃料の確保 <p>〔 LNG、石炭、石油など、発電のために必要な燃料を安定的に、経済的に調達しています。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●原油価格、外国為替、価格交渉の動向による燃料費の変動 	<ul style="list-style-type: none"> ●燃料上流事業への参画、調達先や価格指標のさらなる多様化、トレーディング機能の充実などにより、燃料調達における最大限の経済性を追求します。
<ul style="list-style-type: none"> ●電力の需給安定に向けた供給力の確保 ●原子力プラントの早期再稼働 ●電源競争力の強化 <p>〔 火力、水力、原子力、太陽光、風力などの発電をバランスよく組み合わせ、安定的に、経済的に電気をつくっています。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギーミックスの動向 ●年間降水量の変動 ●台風や地震・津波などの自然災害 ●大規模な設備事故 ●原子力バックエンド事業の動向 ●地球温暖化対策など、環境政策・国際枠組みの動向 ●原子力プラントの停止長期化 	<ul style="list-style-type: none"> ●電力需給の安定化を成し遂げるべく、自社電源の最大限の活用や他社融通などによる供給力の確保に取り組みます。 ●原子力プラントの早期再稼働をめざすとともに、原子力発電の安全性向上に向けた自主的・継続的な取組みを推進します。 ●最適な電源ポートフォリオの構築に取り組みます。 ●再生可能エネルギーのさらなる開発促進をめざした組織体制の整備（再生可能エネルギー事業戦略室の新設）
<ul style="list-style-type: none"> ●電力の需給安定への取組み <p>〔 発電所から変電所までを送電線で、変電所からお客さまのご家庭や工場などまでを配電線で、電気を届けています。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●台風や地震・津波などの自然災害 ●大規模な設備事故 ●送配電部門の法的分離の導入（電力システム改革） 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さまの当社システム利用ニーズへの適切な対応を図ります。 ●スマートメーターの積極的な導入を図ります。 ●設備の高経年化対策に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> ●サービス競争力の強化 <p>〔 電気を安定的に、より経済的にお届けするとともに、幅広いニーズにお応えし、お客さまや社会のみなさまのお役に立つ取組みを推進しています。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小売全面自由化の導入（電力システム改革） ●他事業者との競争のさらなる拡大 ●天候、景気動向、節電の取組みによる電力需要変動 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さまの省エネ・省コストの実現につながるエネルギーマネジメント活動を推進していきます。 ●総合エネルギーを中心に暮らしやビジネスを支える多様なサービスの提供に取り組みます。 ●スマートコミュニティ・まちづくり案件への参画を図ります。 ●Webサービスの拡大などにより、お客さまの利便性向上を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ●情報通信事業や国際事業における収益拡大 <p>〔 電気を中心に総合エネルギーや、情報通信、生活アメニティ関連などのグループサービスを組み合わせ、トータルソリューションを提供しています。また、海外での発電プロジェクトへの参画や開発に取り組んでいます。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●技術革新や他事業者との競合の進展 	<ul style="list-style-type: none"> ●関西エリア以外へのアプローチを含め、「総合エネルギー事業」を中核とした競争力ある企業グループへ変革していきます。 ●ガス販売や事業エリア、事業領域を拡大します。 ●情報通信事業、国際事業、生活アメニティ事業における収益拡大を図ります。 ●国際事業の拡大をめざした組織体制の整備（国際事業本部の新設）
<ul style="list-style-type: none"> ●ゆるぎない安全文化の構築 ●徹底した経営効率化 ●機能的で効率的な事業基盤の構築（組織体制の見直し） ●CSRを基軸とした経営 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンプライアンス上の問題 ●情報セキュリティ上の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ●安全は、グループすべての事業活動の根幹であり、安全最優先の事業活動を継続します。 ●徹底した経営効率化に取り組みます。 ●調達・物流改革の推進に向けた組織体制の整備（調達本部の新設） ●競争環境を見据えた組織体制の整備（6事業部制への移行） ●グループ一体となり、コンプライアンスの強化に取り組みます。



ステークホルダーとの関わり

関西電力グループの事業活動は、ステークホルダーのみなさまにより支えられています。主なステークホルダーを定め、それぞれのご期待に応えられるよう、コミュニケーションを深めるための取組みを進めています。



主なステークホルダー		主な取組み内容	
		広聴活動	広報活動
お客さま	お客さまのニーズを的確に把握し、よりよい商品・サービスの提供を通じて、お客さまとの信頼関係を築きます。	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネコンサルティングや節電要請など日常の営業活動〈随時〉 ●コールセンターや営業所でのお客さまの声の登録〈随時〉 ●お客さまの声や地域社会のみなさまの声のデータベース「ダンボの声」〈随時〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●Webの活用 (HP・Facebook・YouTube・Twitter) 〈随時〉 ●「電力需給のお知らせ」ポスター〈随時〉 ●節電に関する街頭呼びかけ〈随時〉 ●広報誌『わっと』〈年2回〉 ●検針票やリーフレット〈毎月〉 ●はぴeライフnavi〈随時〉 ●はぴeみる電〈随時〉 ●マスメディアの活用 (テレビCM・新聞広告) 〈随時〉 ●プレス発表〈随時〉 ●記者会見〈随時〉 ●発電所等施設見学会〈随時〉
地域社会・社会の多くのみなさま	地域や生活に密着した事業者として、地域社会と連携し、地域が抱える課題の対応や解決に積極的に貢献することで、地域社会との信頼関係を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体とのコミュニケーション〈随時〉 ●発電所周辺のお客さまとのコミュニケーション〈随時〉 ●省エネコンサルティング、節電要請、環境取組みなど日常の営業活動を通じた対話〈随時〉 ●お客さまの声や地域社会のみなさまの声のデータベース「ダンボの声」〈随時〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●Webの活用 (HP・Facebook・YouTube・Twitter) 〈随時〉 ●広報誌『躍』〈年2回〉 ●『関西電力グループレポート』〈年1回〉 ●発電所等施設見学会〈随時〉 ●自治体防災訓練への参加〈随時〉 ●環境イベントへの参加〈随時〉 ●出前教室や出前説明会の開催〈随時〉 ●プレス発表〈随時〉 ●記者会見〈随時〉 ●説明ツールの活用 (かんでんエルメッセージ・安全に関する映像) 〈随時〉
株主・投資家	公平かつ迅速な情報開示や、企業価値の向上に努めることで、株主や投資家のみなさまの信頼に応えます。	<ul style="list-style-type: none"> ●株主総会〈年1回〉 ●会社説明会〈年2回〉 ●IRミーティング〈随時〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●Webの活用 (HP・Facebook・YouTube・Twitter) 〈随時〉 ●ファクトブック〈年1回〉 ●企業情報/IR情報のHP〈随時〉
ビジネスパートナー (取引先・協業会社 など)	環境に配慮しながら、安全性・品質・経済性に優れた資機材やサービスを適切な時期に調達し、取引先との信頼関係を確かなものにします。	<ul style="list-style-type: none"> ●研修会や安全パトロール〈随時〉 ●関係会社社長会などでの情報共有〈随時〉 ●CSR調達方針の説明、浸透活動〈随時〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●Webの活用 (HP・Facebook・YouTube・Twitter) 〈随時〉 ●調達計画の公表〈年1回〉
従業員	事業の原動力である従業員一人ひとりが、やる気を持ち、やりがいを感じながら、それぞれの能力を發揮できるよう組織風土の醸成や仕組みづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●社長対話〈年38回〉 ●役員キャラバン〈年102回〉 ●広報キャラバン〈年約50回〉 ●労使協議〈随時〉 ●CSRに関する全従業員アンケート〈年1回〉 ●コンプライアンス相談窓口〈随時〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●Webの活用 (HP・Facebook・YouTube・Twitter) 〈随時〉 ●社内ポータルサイトの活用〈随時〉 ●社内報『関西電力新聞』〈毎月〉 ●社長などからのメッセージを配信〈随時〉 ●社内テレビ〈随時〉 ●メールマガジン〈随時〉 ●原子力安全対策現地説明会〈年約50回〉